

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重 点 的 取 組 4 手軽に出かけ、移動できる環境を整える

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課
予 算	会計 01 一般会計
算 款	02 総務費
科 項	01 総務管理費
目 目	12 生活交通対策費

事業名	自主運行バス購入事業	事業開始年度	平成 13 年度
	自主運行バスの車両整備	根拠法令 条例 個別計画 等	廿日市市生活交通再編計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	路線バスの運行していない地区等のバス利用者	市民が手軽に出かけ、移動できる環境を整えるための車両整備。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	交通事業者	・車両購入に係る契約事務 ・適切なメンテナンスと計画的な車両更新の総括

3 平成 25 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	【事業概要】 生活交通再編に伴う沿岸部自主運行バス増便への対応及び全市的な車両配置の適正化を図るため必要な車両を購入する。 (おおのハートバス) 現行 3 車体制 → 4 車体制 (34人乗りノンステップバス 1 台購入) (吉和さくらバス) 冬季の安全運行のため交通事業者から要望のある四輪駆動車を導入 (12人乗りワゴン車両 1 台購入) ※現行の吉和さくらバス車両は、佐伯地域の自主運行バス (浅原線 朝夕便) 及びデマンド車両として活用し、佐伯自主運行バス車両 (34人乗りノンステップ) を廿日市さくらバス増便 (2 車体制→3 車体制) に対応するため配置換えを行う。 【歳入】 社会資本整備総合交付金 (補助率55%) 14,960 千円 →大野バス10,560、吉和ワゴン4,400 過疎地域自立促進特別事業債 3,600 千円 →吉和ワゴン 自主運行バス購入事業債 (合併特例債) 8,200 千円 →大野バス 特定財源 計 26,760 千円 【歳出】 34人乗りノンステップバス 1 台 19,200 千円 12人乗りワゴン(四駆)車両 1 台 8,000 千円 登録費用ほか 260 千円 計 27,460 千円						
コスト情報 (円)	項 目		平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算		
	財源内訳	直接事業費 A			27,460,000		
		国庫支出金			14,960,000		
		県支出金					
		借入金(市債)			11,800,000		
		その他(使用料など)					
		市(市税など)			700,000		
	人件費(按分) B		人	人	0.05 人 437,600		
	総事業費(A+B)				27,897,600		
	単位 換算	① 人口(4月1日現在)	118,353 人	118,353 人	118,000 人		
		② 利用者数	338,749 人	338,749 人	338,749 人		
到達目標	活動及び成果指標		単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値
	活動	市自主運行バス路線数	路線	8	8	10	10
		市自主運行バス利用者数	人	338,749	342,000	380,000	400,000
	成果						